

## 一般廃棄物処理基本計画（素案）に関するパブリックコメントについて

### 1 パブリックコメントの実施状況

#### (1) 期間

平成18年1月23日（月）～平成18年2月10日（金）

#### (2) 意見提出者数等

提出者 5名 提出件数 11件

郵送	ファックス	Eメール	その他	計
1		4		5

### 2 意見の概要と意見に対する市の考え方

#### (1) 基本計画の目標について（1件）

	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>「りんごダイエット作戦」のダイエットは体重管理のイメージで、脅迫観念があるように思う。「りんご1個分、もったいない作戦」というように経済観念と結びつけた方がよいのではないかと。</p>	<p>「ダイエット」という表現は、循環型社会の構築に向け、幅広い世代の方々にごみ減量への関心を持っていただく契機になればとのねらいで採用させていただきましたが、今回の計画におきましては、具体的なものとして、りんご1個分の減量を市民・事業者の共通目標としました。</p> <p>なお、ご意見にある「もったいない」という意識は大変重要であることから、現在、本市では「もったないうつのみや」運動を展開し、「もったいない」という言葉から人や物を大切にすることを育むとともに、ごみ減量に対する市民や事業者の主体的な行動を推進しております。今後とも、多くの市民のみなさんに「もったいない」という意識をもっていただき、実際にごみ減量に取り組んでいただけるような意識啓発に努めてまいります。</p>

(2) 発生抑制, 減量化・資源化計画について(8件)

	意見の内容	意見に対する市の考え方
2	<p>プラスチックの分別については,既に多くの都市で実施しており,一般化している。今すぐにでも実施してほしい。</p>	<p>循環型社会を構築するためには,従来からの焼却処理や埋立処理に加え,分別し資源化することが非常に有効であると考えております。</p> <p>現在,本市ではペットボトルの分別収集を実施しておりますが,今後は,その他プラスチック製容器包装の分別収集の早期実施に向け取り組んでまいります。</p>
3	<p>プラスチックのごみについては,分けて出せば資源として利用できるのので分別に協力したい。分別を実施するには,上手な分別方法を具体的に教えてください。</p>	<p>プラスチックの分別実施の際には,地域での説明会を開催し,多くの市民のみなさんに実物を提示しながら具体的な分別方法を周知するとともに,広報紙やパンフレットなどの媒体も活用しながら周知徹底してまいります。</p>
4	<p>ごみ有料化を実施すべきではないか。有料化にすることでものを大事にする心やごみを出さないという心も育つのではないか。</p>	<p>ごみ有料化については,分別意識を向上させ,排出量に応じた公平性を確保するための施策と捉えておりますが,実施については,紙パック,白色トレイの分別やその他プラスチック製容器包装の資源化実施後の状況等を見据えながら検討してまいります。</p>
5	<p>ごみの組成を見ると分別が徹底されていないように感じるが,提示されている減量化施策は,現状を踏まえ市民に対してどのように協力させるかのビジョンが感じられない。</p> <p>ごみの有料化を実施すれば,みんながごみに対して本気で考え,極力ごみをださないような工夫をするのではないか。</p>	<p>ごみの分別につきましては,パンフレットの配布や地域での分別講習会の開催を通じて,幅広い市民のみなさんに周知しておりますが,完全には浸透していない状況です。</p> <p>このため,減量化施策の推進にあたっては,市民や事業者に主体的に取り組んでいただくとともに,お互いに協力しあいながら具体的な行動に結びつくよう,更なる意識啓発に努めてまいります。</p> <p>ごみの有料化につきましては,分別意識を向上させ,排出量に応じた市民間の公平性を確保する施策として有効であると考えておりますが,実施については,紙パック,白色トレイの分別やその他プラスチック製容器包装の資源化実施後の状況等を見据えながら,検討してまいります。</p>

	意見の内容	意見に対する市の考え方
6	<p>学校給食の生ごみのリサイクルをすることであったが、レストラン等から排出される大量の生ごみも減量して欲しい。</p>	<p>レストランなどの事業所から排出される生ごみにつきましては、平成 18 年度から稼働を予定している民間の生ごみ資源化施設での資源化を誘導してまいります。</p>
7	<p>生ごみのガス化発電を検討する場合、市民の電気代が安くなるなど何らかのメリットがあると、分別への協力が得られるのではないか。</p>	<p>生ごみの分別による資源化については、バイオガス化発電などの新たな資源化技術の動向等を見据えながら検討してまいります。実施にあたっては、市民の協力が得られるよう取り組んでまいります。</p>
8	<p>生活ごみ、特に生ごみは、大切な資源である。落ち葉も活用した官設民営・PFI 方式の大規模な堆肥センターを設置して欲しい。</p>	<p>生ごみや落ち葉などの有機性廃棄物は大切な資源と認識しております。</p> <p>今後は、生ごみや落ち葉を活用した堆肥化などに加え、様々な資源化技術が開発されてきていることから今後の技術動向等を見据えるとともに、地域内循環システムを含めた総合的な資源化について検討してまいります。</p>
9	<p>ディスポーザーを活用した生ごみの減量をしたらよいのではないか。</p> <p>マンション等では既に普及し始めているが、ディスポーザーを使用することで生ごみのごみステーションに出されなくなるため、臭いやカラス対策にも非常に有効であり、積極的に推進してもらいたい。また、利用者には、生ごみ処理機のような補助金制度を検討してほしい。</p>	<p>ディスポーザーを使用した生ごみの処理は、利用者の利便性に加え、高齢社会等にも対応できるシステムであります。下水道を使用することになるため、下水道施設への影響なども含め、今後、総合的に検討してまいります。</p> <p>なお、生ごみ等の有機性廃棄物の資源化につきましては、従来の資源化方策に加え、新たな資源化技術が開発されてきていることから、今後の技術動向等を見据えながら、本市の地域特性を踏まえた持続可能な循環型システムとなるよう検討してまいります。</p>

(3) その他(2件)

	意見の内容	意見に対する市の考え方
10	様々な減量化施策が提示されているが、どう取り組んだらよいかわかりにくいいため、具体的でわかりやすい減量マニュアル(ダイエット作戦)を作成して各世帯へ配布して欲しい。	減量化施策を推進するためには、市民や事業者のみなさんの協力が不可欠です。 このため、普段の生活の中でみなさんに活用していただけるよう、わかりやすいごみ減量マニュアルを作成して、配布するとともに、地域での減量講習会等を開催し、市民のみなさんが主体的に取り組むことができるよう努めてまいります。
11	市がどのような取組みをしているのかよくわからない。市の施策がすべての市民に認知されるようPRしてもらいたい。また、PRの仕方ももっと工夫してもらいたい。	市の取組みについては、これまで広報紙やホームページ、地域での講習会の開催、各種イベント等により周知してまいりました。 今後とも、より多くの市民のみなさんに理解していただけるよう既存の媒体だけでなく、あらゆる機会を通じて更なる周知に努めてまいります。